

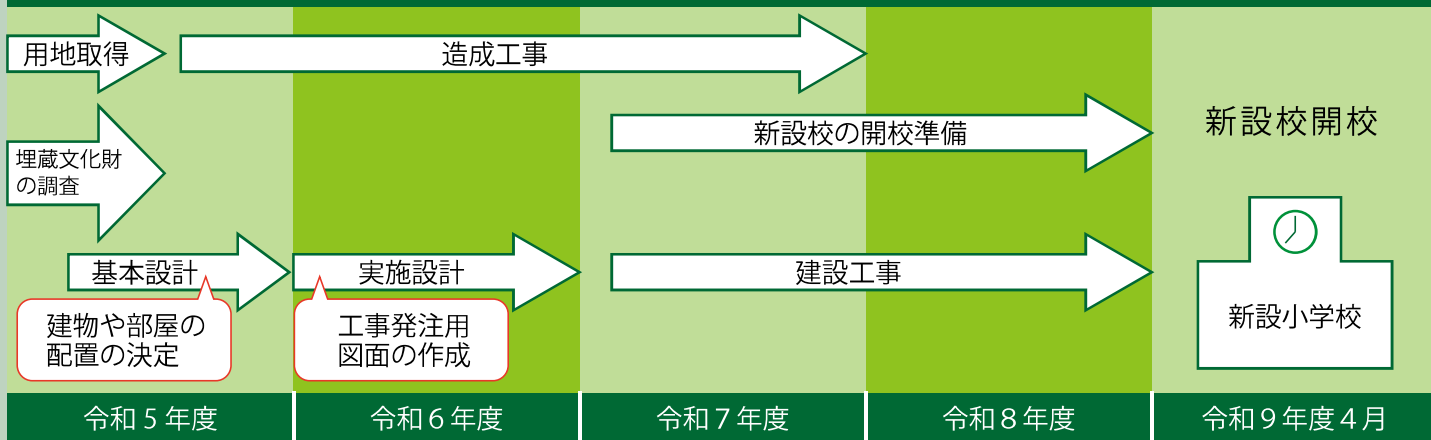
福津市新設小学校基本設計 ワークショップニュース No.1

2023年9月発行

さまざまな意見を募るワークショップを開催しました。

福津市では、児童数の急増による過大規模校を解消するため、宮司2区、宮司3区、西福間5区の中央に850人規模の小学校建設を計画していて、令和9年4月開校を目指しています。

新設校開校までのスケジュール



新設小学校は各地域をつなぐ新たなコミュニティの場を目指し、市民や児童・生徒、教員の皆さまのアイデアや思いを反映させるため、ワークショップを計画しています。

第1回ワークショップは、2023年8月21日（月）に宮司コミュニティセンターで行い、関連する小・中学校の教員をはじめ、保護者や、地域住民の皆さま29名に参加して頂きました。

今回のワークショップでは「こんな学校だったらいいな！アイデアを出し合おう、地域と学校の関係を考えよう」というテーマで、皆さんと話し合いました。

◆ワークショップで話し合ったこと◆

1. 参加者（各テーブル）から出た意見「どんな学校になるといいか、したいか」

<意見の一例>

- ・地域の人が寄り添える学校
- ・子どもが行きたくなる学校づくり
- ・子どもの命を大切にできる学校
- ・子どもが自然と触れ合える環境
- ・光がたくさん取り込まれるような明るい学校
- ・子どもの作品を展示するスペースが欲しい
- ・本がいっぱいある学校



どんな学校にしたいかのグループ作業



各班のこうあったらいいなについて発表

2. 参加者（各テーブル）から出た意見「子どもたちや私たちの活動シーンを思い浮かべて」

<意見の一例>

- ・地域の人が平日でも利用できる開放された場所
- ・子どもたちが地域の異年齢の方々と交流できるスペース
- ・地域の人が児童と活動で使えるように広いホール
- ・児童が発表や劇をできる階段状のスペース
- ・児童が地域の人たちと話すことのできる多目的ルーム
- ・児童や地域の人が児童の作品を見れる展示スペース
- ・低学年の児童と高学年の児童が教わったり教えたりできるコミュニケーションの取れる場所



活動シーンを書き出している様子

3. 参加者（各テーブル）から出た意見「配置についての疑問や悩み」

<意見の一例>

- ・体育館と駐車場が遠い。
- ・車両入り口近くに、体育館に直接入れる出入口が欲しい。
- ・敷地南側の橋は狭くて登下校では渡れない。
- ・グラウンドは運動会等の行事が行える大きさなのか。
- ・敷地の境界線フェンスはどのくらいの高さを想定しているのか。
- ・駐車台数が足りない。
地域的に車で来る人がほとんど。
- ・職員室があるエリアに保健室を配置するといい。
- ・昇降口を入ったエリアに広場があると交流スペースとなる。



疑問や悩みについてのグループ作業



活動のシーンや悩み疑問について発表

■今後のワークショップの予定■

第2回予定 9月16日(土) 午後1時～午後4時

テーマ(仮): あたらしい時代の学校とは?

長澤悟さん(東洋大学名誉教授)による講演
プランについて意見交換しよう①

第3回予定 12月中旬頃 平日午後7時～午後9時

テーマ(仮): プランについて意見交換しよう②

■お問い合わせ■

福津市教育委員会 教育総務課

TEL: 0940-62-5092

FAX: 0940-43-9004

Mail: kyoiku@city.fukutsu.lg.jp